

一番草収穫作業がスタートしました



目次 Contents

第48回中春別農協通常総会	2~3
総会組合長挨拶	4~5
役員 就任・退任の挨拶	6~7
中春別酪農対策協議会総会、サブ集落総会	8
組織構成図	9
北海道ブラック&ホワイトショウ	10
同志会通信(ホルスタイン写真コンテスト)	11
同志会通信(絵画コンテスト結果)	12~13
夢都里路くらぶ援農体験	14

未来牧場通信	15
女性部活動 他	16
管理課からのお知らせ	17
営農対策情報	18
中春別小学校 運動会	19
別海高校活動報告	20
退職のごあいさつ 他	21
生乳課情報	22
理事会の動き・乳質乳価	23
組合員の広場	24

「時代に即した活力あふれる地域づくり」に向けて

第48回 中春別農業協同組合 通常総会

第48回中春別農業協同組合通常総会が6月3日(金)、農業者団地センターで開催されました。



原内副組合長



望月組合長



西川会長

総会に先立ち、優良組合員表彰者、乳質改善・良質乳生産組合員表彰者、経営移譲感謝状授与者、永年勤続職員表彰者が紹介され、望月組合長から表彰状・感謝状並びに記念品の贈呈の後、挨拶がありました。(別記参照)

総会成立については、正組合員数250人中、本人出席数39人、代理人出席2人、書面決議187人、計228人



監査報告をする荒代表監事



議案を説明する大山専務



議長 平井優一氏 (左)、藤原寛史氏 (右)

が参加され、議長には中春別地区藤原寛史氏、平井優一氏が指名され議事に入りました。

議案第1号「事務所建設積立金(定款第62条に定める目的積立金)の設定について」、議案第2号「令和3年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について」、議案第3号「令和4年度事業計画の設定について」、議案第4号「地域農業振興計画並びに第12次中期経営計画の設定について」、議案第5号「賦課金の賦課及び徴収方法について」、議案第6号「定款の一部変更について」、

議案第7号「信用事業規程の一部変更について」、議案第8号「役員選任について」、議案第9号「役員報酬の支給について」、議案第10号「退任役員に対する役員退職慰労金の支給について」、以上第1号から第10号、また、報告事項1「労働保険事務組合の令和3年度徴収・納付状況の報告について」、報告事項2「労働保険事務組合事務処理規程の一部改正について」、報告事項3「JABバンク基本方針の変更について」を、それぞれ大山専務より説明され、原案通り承認されました。

閉会にあたり、原内副組合長より「本総会で決定いただいた地域農業振興計画並びに第12次中期経営計画の確実な実践を目指し、組合員の皆様と役員一丸となって取り進めたいと考えています。」

今、酪農業界は飼料・資材の高騰、個体価格の下落、そして肥料価格の大幅な値上げが報じられており、非常に厳しい状況に置かれています。今こそ農業協同組合の力が活かされる時と想っております。これまでも、幾度となく困難に立ち向かってきて今があります。組合員の皆様のお力を農協に結集していただき、共にこの難局を乗り越えていきたいと考えております。」と述べられ、閉会いたしました。

令和4年度表彰者

○優良組合員表彰者

柿本 鶴雄 (中春別地区)
富永 松太郎 (中春別地区)

○乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

井上 哲孝 (豊原地区)
広沼 力也 (豊原地区)
細川 優作 (豊原地区)
花岡 芳征 (豊原地区)
橋本 嘉篤 (豊原地区)
平林 直文 (中春別地区)

○経営移譲感謝状授与者

久保 義則 (豊原地区)
小野 榮一 (中春別地区)

○永年勤続職員表彰者

大内 毅 (勤続20年)
小田島 雅信 (勤続20年)



乳質改善・良質乳生産組合員表彰を受ける井上哲孝さん



優良組合員表彰を受ける柿本鶴雄さん



乳質改善・良質乳生産組合員表彰を受ける細川優作さん



乳質改善・良質乳生産組合員表彰を受ける広沼力也さん



総会の様子



乳質改善・良質乳生産組合員表彰を受ける花岡芳征さん

生乳出荷量12万9,987トン、 前年比102.6%の実績となり 過去最高の販売量

本来であれば本総会に、行政、並びに系統連合会を含め、各関係機関のご臨席を賜り開催するところではございますが、新型コロナウイルス等の感染防止対策のため、ご臨席をご遠慮いただいた中での開催となりますことをご理解賜りたくお願い申し上げます。

また、組合員におかれましては、昨年、一昨年と書面議決を優先した中での開催でございましたが、本日は本人出席のもと本総会が開催出来ますことに厚くお礼申し上げます。さて、国内外の情勢に目を向けますと、新型コロナウイルス等の世界的まん延から3年目に入りまして、いまだに収束の目途が立っておりません。この間、世界の生活様式は一変し、人流の停滞を招き、観光業をはじめとする国内の産業に影響を与えることとなりました。その影響は酪農家においても顕著となり、イン

バウンドや学乳の需要低下を要因とし、生乳需給の大幅な緩和を受け、飲用乳需要の回復が見通せないことや、乳製品在庫が過去最高になっており、処理不可能乳の発生が予想を許さない状況が続いております。

そのため、北海道では生産抑制の取り組みを行い、令和4年度生乳生産目標数量においては、前年度目標数量の100%に新規就農・規模拡大率1%を加えた101%に設定し、目標達成に向け全道・JA・生産者が一体となって取り組みを行うことが北海道酪農・畜産対策本部委員会において決定された経緯でございます。JAとしても生産基盤を維持するためには、出来る限りの対策を講じてまいりますので、あらためまして組合員の皆様に対し、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

また、処理不可能乳の発生回避の

ため、ホクレン・乳業メーカーをはじめとした、関係機関の皆様のご尽力に敬意を表するとともに感謝申し上げます。

本年度の酪農畜産政策価格対策につきましましては、加工原料乳補給金と集送乳調整金単価、また、交付対象数量ならびに予算総額も前年度据置となり、用途別価格も全用途据置となりましたが、需給動向は不透明な状況が続いていることから、国では乳製品在庫削減対策として、乳業メーカーと生産者にも拠出金を求める特別対策事業を実施するため、プール乳価は前年度並みに2円程度引き下げとなる見通しであります。また、諸対策も引き続き予算措置をされました。

国際貿易につきましては、TPPをはじめとする貿易協定が発効され、食肉をはじめとした段階的な関税の

引下げがはじまっており、今後、国内農畜産物への影響について一層注視が必要と思われれます。

また、ウクライナ情勢は4カ月を経過しても解決の様相を見せず混沌とした状況が続いており、原油価格の上昇や海上輸送などの物流の混乱を招き、さらにはアメリカの金融政策転換を発端とした円安の影響は、酪農・畜産経営には欠かすことのできない、肥料、配合飼料、燃料をはじめとした生産資材価格の高騰につながっております。

引き続き、JAは、JAグループとして生乳需給対策や生産資材価格対策などの酪農経営安定に向け、予算措置の充実を国に強く要請を求めていくところであります。

こうした中、令和3年度のJA事業におきましては、生乳出荷乳量は129,987トン、前年比102.

6%の実績となり過去最高の販売量となり、生乳・個体販売を合わせた総販売額は、168億85百万円となりました。

搾乳戸数の減少や、個体販売価格の下落、自然災害による被災の中、組合員の皆様をはじめ、ご家族が一丸となって、生乳生産に取り組みられた日々のご努力に対し、心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。次第でございます。

また、子会社3社におきましては、おかげさまでもちまして計画通りの利益を確保することが出来ました。組合員皆様の日頃の利用に深く感謝申し上げます。今後とも組合員経営補完機能としての役割を果たすべく事業運営に努めてまいります。

このような成果のもと、剰余金処分案につきましては、後ほど議案の中でご説明をいたしますが、出資配当に加え、コロナ禍において計画した事業の一部中止・縮小により、費用の減少により、当初計画以上の剰余金が確保されたことから、事業分量配当をご提案させていただきます。また、将来の新事務所建設への財源確保として、事務所建設積立金の新規設定を提案いたします。現在の事務所は建設から50年をむかえ老朽化しております。職場環境の改善を行い、継続的な事業運営を目的とし、具体化に向け中期的に取り進めてまいります。組合員の皆様への特

段なるご理解を賜りたくお願い申し上げます。次第でございます。

そして、本総会に向けまして、各農事組合長を中心に、組合員皆様の多大なるご理解を頂き、また、特に役員改選期ということで、推薦委員・協力委員の方々には、大変なご苦勞をお掛けいたしました。本日、こうして議案の提出が出来ますことを、あらためて感謝を申し上げます。

平成28年度に策定した地域農業振興計画は「未来ある地域づくり活動の実践」をスローガンに目標年度を令和3年度とし、第11次中期経営計画と合わせ取り進めてまいりました。特に、中春別地域畜産クラスター協議会と連携し、生産施設・機械導入支援を進め、生産基盤の充実を図り、乳量増産にむけた成果を上げたものと思われれます。

また、担い手確保につきましては、なかしゅんべつ未来牧場において積極的に研修生を受け入れ、研修機能の充実を図ってまいりました。現在、令和5年度に2組の就農を目指し、鋭意研修を行っているところでございます。

本総会で提出させていただきます、新たな地域農業振興計画ならびに第12次中期経営計画でございますが、組合員意向調査を実施し、地区別懇談会、青年部、女性部のご意見を頂戴し、「時代に即した活力あふれる地域づくり」をスローガンとして策

定したものであります。

外的要因の影響を最小限にするため、先人たちの汗と努力の結晶である中春別地域の資源を生かし、当地域の特色ある草地型酪農の充実に向けて、良質粗飼料生産支援の取り組みを推進してまいります。

また、新たな担い手確保に向けた取り組みにつきましては、なかしゅんべつ未来牧場や各関係機関との連携を密に、多面的支援を行うことにより人材の育成確保に向けて努めてまいりますとともに、新規就農の方法についても多様な形式を検討してまいります。

北海道東部での大地震発生が懸念される中、断水時の対応についても関係機関と連携した取り進めを行うてまいります。組合員におかれましては万が一に備え、貯水タンク等の導入を検討お願いします。

J Aを巡る情勢については、低金利政策が続き信用事業収入が減少する中、政府は昨年6月に閣議決定された「規制改革実施計画」の内容等をふまえ、令和4年1月より総合農協向けの監督指針が適用となり、改正早期警戒制度が導入されました。このことから、J A全体の収益性・健全性については行政のモニタリングが強化されることとなりました。また、全国的に農協不祥事等も継続して発生しており、コンプライアンス体制の強化が求められております。

つきましては、職員の資質向上を図り、J Aの収支および財務の健全を保ちながら、各種支援対策を実施し、組合員の基盤強化を図り所得向上に寄与すべく、役員一丸となつて、地域農業振興計画ならびに中期経営計画に基づき、事業運営を取り進めてまいりますのでご理解をお願い申し上げます。

昨年11月に行われた「第30回J A北海道大会」の基本目標として、「J A運営の好循環に向けて対話の成果を実践」、「J A運営の好循環を支える基盤の強化」が決議されました。本年は厳しい情勢が予想されます

が、J Aが組合員皆様の願いや不安の受け皿としての機能を発揮するため、組合員との対話を充実させ、組合員の意思を役員と共有し、対話の成果を、スピード感をもって、協同組合の原点に戻りJ A事業に反映させていくことが、組合員の経営基盤強化や所得向上、さらには、活力ある地域づくりの振興につながるものと信じております。

そのためには、組合員皆様のJ Aへの結集とJ A利用を改めてお願い申し上げます。

結びになります。行政を始め系統連合会並びに各関係機関に対しまして、今後ともより一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。本総会開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

計画を着実に進める



中春別農業協同組合
常務理事

眞部 朝志

一番牧草収穫期の中、組合員の皆様におかれましては、ご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

この度の通常総会におきまして、理事に選任され、理事会にて常務理事（信用事業担当）の大任を拝しました。責任の重さを痛感しておりますが、組合長を中心に役員共々職務の遂行に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、本総会にて本年度をスタートとする地域農業振興計画「時代に即した活力あふれる地域づくり」並びに第12次中期経営計画のご承認をいただきました。これらの計画を着実に進めてまいりたいと思っておりますので、更なるご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

終わりになりますが、農作業事故には十分留意され、ご家族ともにご隆盛されますことをご祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

地域を守るため、意見や要望に耳を傾ける



中春別農業協同組合
理事

上田 泰治

このたび第48回通常総会におきまして中春別農協理事となりました上田です。若輩者がこの様な重責を担うのは、とても不安ではありますが、我が地域酪農の活性化の為に微力ながら動くことができたらと思います。

現在、酪農を取り巻く環境は世界的なコロナを要因とした需給緩和による脱粉・業務用バターなど在庫の積み増しにともない生産抑制をしなければならず、また、ロシアによるウクライナ侵攻により更なる飼料・燃料・生産資材高騰、ここにきて肥料の大幅値上げと非常に厳しい状況にあります。

一個人の頑張りや努力だけでは経営は守られないと思います。

今後、農家戸数が減ることなく生き生きとした地域を守るため、皆様の意見や要望に、より耳を傾け意欲的に生産活動が行えるよう皆様と知識を出し合い協力していきたいと考えています。

最後になりますが、まだまだ未熟なため多々ご不便、ご迷惑をお掛けすることもあろうと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

精一杯、皆様の笑顔の為に頑張ります。

一日でも早く業務に慣れ、努力する



中春別農業協同組合
監事

兼松 真武

この度6月3日開催の通常総会において、監事にご承認いただき就任に当たり一言ご挨拶申し上げます。

就任したばかりで不安と緊張の中にあり、初年度は皆様にご迷惑をおかけするかと思います。組合員の皆様、先輩役員、職員にご指導賜りながら、一日でも早く職務に慣れるよう努力してまいりたいと思っておりますので皆様よろしく申上げ、就任挨拶とさせていただきます。



3期9年を振り返って



中春別農業協同組合
元理事
遠藤 均

退任にあたり一言ご挨拶致します。
この度の第48回通常総会を持って役員を退任することとなりました。3期9年と永きに渉り支えて頂いた組合員並びに農協職員の皆様には心より感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

9年前を振り返ると、役員選考委員の方々には幾度となく足を運んで頂き決断の運びとなりました。当時はTPP問題、農協改革等様々な集会にも参加・出席することとなり、役席の重さを感じさせられたものでした。そんな中、地域のお祭り事、集まり事に招待頂き楽しい時間を一緒に過ごさせてもらいました。

この9年、農協周辺の整備も進みスタンドの新設等、役員一同、立ち会えたことを今でも懐かしく思います。

また、担い手対策・新規就農者対策の一端として研修牧場の設立に向けて様々な課題を協議、検討して参りました。これから期待したいところです。

この貴重な経験を振り返ると当組合は常に組合員と共に前に向かって話し合い、時には過去も振り返りながら一步一步前進してきたのが伺えます。

これからも対話を大切に、そして情報発信と共有を基に、より良い組織又、より良い地域作りの核であります事を期待いたします。

最後になりますが組合員の皆様、農協職員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念致しまして退任の挨拶と致します。

長い間、大変お世話になりました



中春別農業協同組合
元代表監事
荒 青史

この度、第48回通常総会の終了をもちまして4期12年の監事の役を退任させて頂き、長い間、組合員の皆様には大変お世話になりました。任期中には東北大震災、北海道胆振東部地震によるブラックアウトやTPPの問題、またコロナウイルスの世界的な蔓延などを経験し、特に自然の猛威には驚くばかりでした。

普段から自然災害に対して、心構えの必要性を感じた事柄でした。

コロナウイルスの発生により農協事業や地域行事の中止などにより組合員とのコミュニケーションや地域間の交流の機会も制限され閉塞感が地域を覆う約3年間でした。

配合飼料や肥料をはじめとする資材の高騰など世界的な影響を受けて、個人の力では解決できない状況ですが、農協をはじめ、各関係機関の力を結集して乗り越えていければと思います。

暗い話ばかりですが、酪農バブルも経験し農協をはじめ組合員の財務状況も好転した時期もありましたし、この12年の間には、組合員の世代交代も進んでいます。

地域や農協の今後の安定的な発展のため、後継者に限らず組合員の皆様には、いろいろな場面で建設的な意見を発言して頂きたいと思っております。

大変簡単ですが退任の挨拶とさせて頂きたく思います。ありがとうございました。



常務理事退任にあたって

中春別農業協同組合
元常務理事
登 義直

この度、任期満了により第48回通常総会をもって常務理事を退任いたしました。

組合員の皆様、役員の方には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

通常総会

6月9日(木)中春別酪農対策協議会(山崎浩二会長)では、農業者団地センターにおいて農協より望月組合長を来賓として迎え、第47回通常総会を開催いたしました



開会にあたり山崎会長より「コロナ禍のなか、こうして3年ぶりに会員皆様を招集した形で総会を開催できた。現状の厳しい酪農情勢を踏まえ、生産者酪対として、現場の声を中央要請等で積極的に伝えながら運動展開してまいりたい」と総会開催にあたっての挨拶があり、引き続き、農協を代表して望月組合長より酪農情勢などを交えたご祝辞をいただき議事へと移りました。

議長には中春別地区の藤倉香津靖氏が選出され、議案第1号から第5号まで全議案可決決定されました。

令和4年度の新役員構成は次の通りです。

会 長	山崎 浩	二(再)
副会長	牧野 修	二(新)
副会長	浮川 優	一(再)
副会長	平井 優	一(再)
会 計	林 恒	雄(新)
監 事	花岡 芳	征(新)
監 事	五十嵐 厚	彦(再)
監 事	久慈 真	咲(再)

本年度も昨年度同様、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年度

中春別サブ集落総会



中春別サブ集落では、6月9日(木)に総会を開催いたしました。

来賓の望月組合長の挨拶の後、議事に移りました。

議案第1号「令和3年度事業報告並びに交付金決算について」、議案第2号「令和4年度事業計画書(案)並びに交付金予算(案)について」、議案第3号「役員の変更について」以上議案第1号から第3号まで全て可決承認されました。

第5期中山間事業も本年度より3年目が開始されます。昨年度より、交付金の減少や共同取組活動の制限など、事業内容が大幅に変更されたこともあり、中々受け入れ難い状況



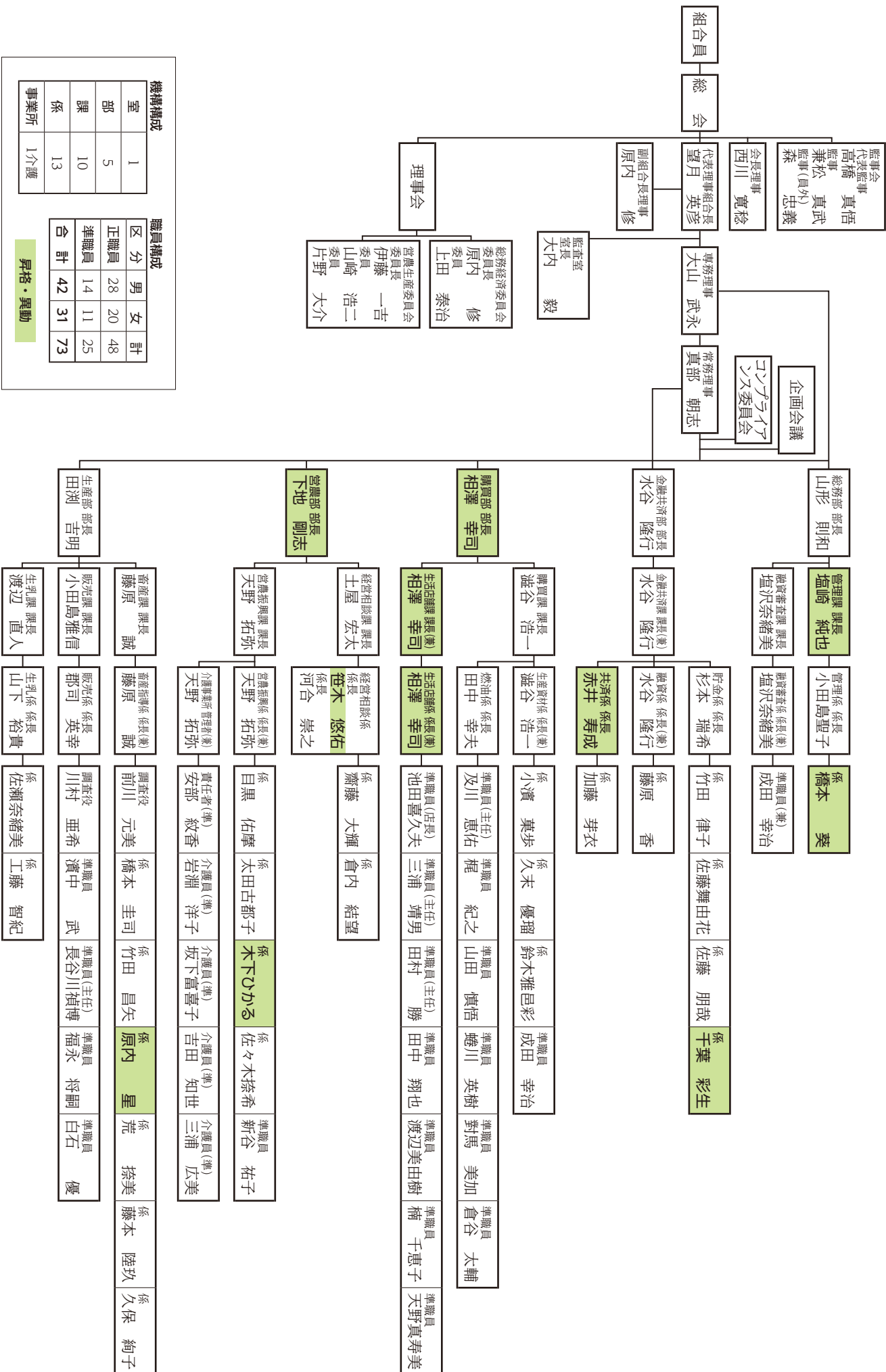
下ではありますが、今後も、事業の継続と地域活性化を図るため、担い手育成強化など、農業農村のもつ多面的機能の維持発揮を図り協定者の皆様に理解していただけるように取り組んで参ります。

なお、令和4度役員は次のとおりとなっております。

集落長	原内 修	(新)
副集落長	佐藤 孝	(徳新)
副集落長	大堀 壯	(新)
会 計	浦山 武	(志新)
監 事	佐藤 恭	(平新)
監 事	藤倉 香	(津新)
監 事	片野 大	(介再)
幹 事	上田 泰	(治新)
幹 事	本田 剛	(新)

JA中春別 組織機構図と職員配置図

令和4年7月1日現在



ハイレベルな戦いが 繰り広げられました

北海道ブラック&ホワイトショー

5月21日(土)安平町早来北海道ホルスタイン共進会場において、3年ぶりの開幕となる2022年北海道ブラック&ホワイトショーが行われました。

審査員には北見市で酪農を営まれている上野元一氏が務め各部ハイレベルな戦いが繰り広げられました。

根室管内からは11頭が出品され、当同志会からは角田忠嗣さん、山田侑甫さんの2戸5頭が出品されました。当同志会の出品牛は第1部に山田侑甫さんが出品された「YMD アリシア CVTT ソロモン アンブレラ ET」が30頭近く出品されていた第1部育成ジュニアクラス（生後6カ月以上9カ月未満）の中で6位に入る活躍を見せました。

そして、グランド・チャンピオンには上士幌町の小椋淳一さんが出品された「スウィートネス SID エンデバー」が輝きました。

全道クラスのショーは約3年ぶりに行われましたが、各出品者ともに出品牛をより良い状態で見せようと非常に熱がこもっていました。これからもコロナウイルスに負けずに、8月に行われる根室ホルスタイン共進会において中春別ホルスタインが活躍できることを心からお祈り申し上げます。



中春別乳牛改良同志会出品牛

No.	部	順位	名号	生年月日	父牛名号	母牛名号	出品者
1	1	6	YMD アリシア CVTT ソロモン アンブレラ ET	R3.10.22	ウォールナットローン ソロモン ET	ミルクソース CVTT アンビション ET	山田 侑甫
2	3	17	ビューティガール ハイオク ゴスペル ET	R3.3.3	スタントズ ハイ オクターン ET	キングスウェイ エアリフト ゴスリング	角田 忠嗣
3	3	12	マイティシニア ビクトリア Mデンバー	R3.4.4	ブレンランド デンバー	マイティシニア ビクトリア マツカチエン	角田 忠嗣
4	5	5	フォーエバーヒル エツセンス ユニクス	R2.10.11	クロトー レスペロン ユニクス ET	フォーエバーヒル エツセンス ソロモン	角田 忠嗣
5	5	6	フォーエバーヒル ヴォーグ KB ラスト ET	R2.11.4	モーニングビュー MCC キングボーイ ET	ボーグ ルミネア ラスター ET	角田 忠嗣

チャンピオン牛

	部	名号	生年月日	父牛名号	母牛名号	出品者
グランド・チャンピオン	14	スウィートネス SID エンデバー	H28.3.21	パインツリー シド ET	スウィートネス ARK ダミオン エポエポ	上士幌町 小椋 淳一
リザーブ・グランド・チャンピオン	10	SJ7ファーム サイドキック エクラミネ	H30.12.5	ウォールナットローン サイドキック ET	SJ7ファーム アットウッド エリクシル ET	音更町 小原 潤哉
シニア・チャンピオン	14	スウィートネス SID エンデバー	H28.3.21	パインツリー シド ET	スウィートネス ARK ダミオン エポエポ	上士幌町 小椋 淳一
リザーブ・シニア・チャンピオン	13	シーサイド ハード クラツシュ	H29.3.10	マーベリツク クラツシュ	シーサイド リラ マツカチエン	八雲町 佐藤 元彦
インターメディアイト・チャンピオン	10	SJ7ファーム サイドキック エクラミネ	H30.12.5	ウォールナットローン サイドキック ET	SJ7ファーム アットウッド エリクシル ET	音更町 小原 潤哉
リザーブ・インターメディアイト・チャンピオン	10	TMF ステイゴールド ロックスタードアマンナ	H31.3.7	バルビツソン ドアマン ET	TMF ステイゴールド ロックスター ウィド ET	広尾町 樹エスティリアデリーサービス
ジュニア・チャンピオン	5	SEA-LAKE ハイロード サイドキック エレナ 2 ET	R2.9.18	ウォールナットローン サイドキック ET	SEA-LAKE ドアマン エクステ	清水町 (袴)田中牧場
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	5	ローヤルランド ミルキー S キングドツク	R2.11.2	ウツドクレスト キングドツク	ローヤルランド ミルキー S クラツシュ	大樹町 木村 達也

第44回 ホルスタイン 写真コンテスト

育成ジュニアクラス
6～9ヶ月未満



中春別乳牛改良同志会（寺澤佳吾会長）では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。



同志会通信

予想投票応募要項

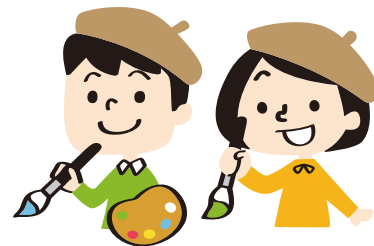
1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号（A～F）を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課（畜産指導係 ☎76-3006）または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募メ切は、8月10日(水)となっておりますので期日までに応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者（当選者）は2022年9月号で発表致します。



JA中春別乳牛改良同志会

絵画コンテスト

結
果



本誌4月号の「絵画コンテスト」のご案内から約1ヶ月半の応募期間を経て、5月31日に募集を終了いたしました。

昨年に続きたくさんの応募があり、各作品ともに牛やお父さん、お母さんの作業風景をよく見ているなど感じられる作品が多く序列については当会役員一同非常に悩みました。

審査の結果、金賞1つ、銀賞2つ、銅賞3つが選出されました。

なお、受賞されなかった方々の作品も本誌の裏表紙「組合員の広場」で今後掲載させていただきます。



金賞 小守なずなさん (14才) 「モウ～イヤ コロナ」



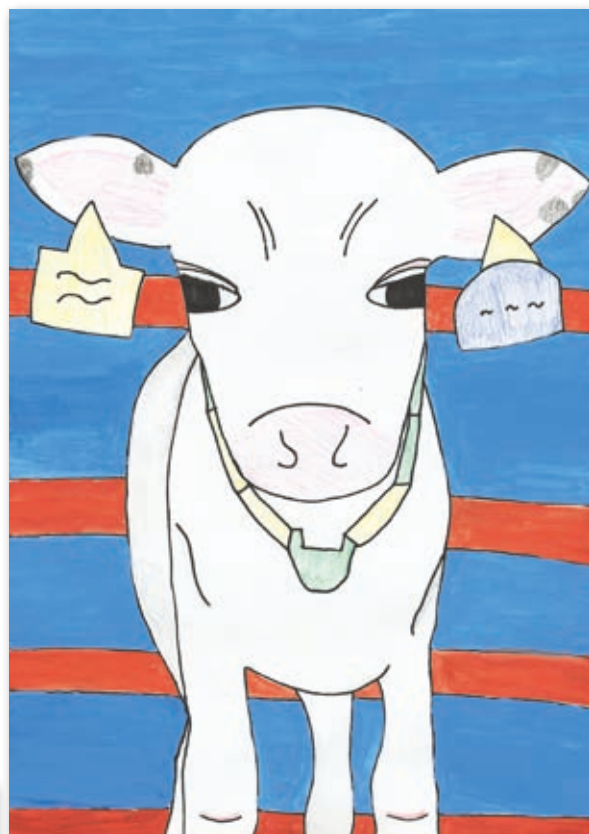
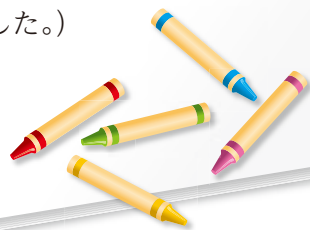
銀賞 松崎 心美さん (13才)
「おいしいミルクを飲む子牛」



銀賞 中島 楓さん (8才)
「ママがミルクをあげているところ」

●審査

6月8日(水)、当会役員からなる審査委員会を形成し、厳正な審査を行いました。
(審査にあたり応募された方のお名前は伏せて、作品のみで行いました。)



銅賞 高橋 杏菜さん (11才) 「朝の子牛」

●展示

J A 中春別正面玄関内に7月19日(火)～8月31日(水)まで展示いたします。
(展示後作品の返却をご希望の方はJ A 中春別畜産課 橋本までご連絡下さい。)

銅賞 中島 葵唯さん (5才)

「ぴーちゃんと
おなかの中の赤ちゃん」

受賞者、ご応募いただいた全ての方に図書カード+JA中春別ミルク王国利用券をご用意させていただいております。JA中春別畜産課までお越しください。



銅賞 野矢 実里さん (6年) 「無題」



夢都里路くらぶ援農体験が3年ぶりに開催され、6月8日(水)〜10日(金)に生活クラブ生協組合員及び組合員家族3名が(株)なかしゅんべつ未来牧場に訪れました。

1日目は参加者同士の自己紹介と、3日間の行程についてのオリエンテーションを行い、(株)なかしゅんべつ未来牧場で場内視察を行いました。参加者の3人とも、牛の大きさや充実した設備に驚いている様子でした。

夜には懇談会を行い、中春別酪農対策協議会より山崎会長、中春別農協女性部より南澤部長、上田副部長、農協より望月組合長、伊藤理事、未来牧場より研修生と職員が参加し、生産者と消費者との貴重な交流の場となりました。

生活クラブ連合会

夢都里路くらぶ援農体験

体験・交流を通じて、「安心・安全」な食の理解を深める



た。

2日目は朝5時から牛舎での酪農作業がはじまり、作業内容はハッチの掃除、哺乳作業、その他にも餌寄せ、搾乳作業などを行い、夕方も同様に作業を行いました。

3日目は早朝からの作業に加え、ホル雄牛の出荷見学。その後の座学では、天野営農振興課長より、乳牛の扱い方や生乳が出る仕組み、現在の酪農情勢

などを説明しました。

2泊3日と短い期間ではありましたが、参加者からは「実際に作業を通して、丁寧に愛情を込めて育てられているのだなと感じた」「消費拡大のため牛乳や牛肉をたくさん食べます」と感想をいただきました。普段食卓に並ぶ牛乳・乳製品や牛肉が、どのような場所生産されているのか、援農体験・生産者との交流を通じて「安心・安全」な食を届けるために日々奮闘していることなど、感じていただけたかと思えます。



1番牧草収穫作業開始 良質粗飼料の出来に期待する

酪農研修センターでは、1番草収穫作業を昨年より5日遅い6月21日から開始しました。

今年は早春から好天に恵まれ、肥料・消化液散布も順調に終了し、昨年と同様の収穫時期を期待していましたが、6月に入り低温と曇天が続いたため、特にクローバーの植生が例年より遅い状況下でありました。

そのような状況の中、待ちに待った好天の天気予報が発表され、研修生は事前に植生を確認し、一部、組合員の作業応援をいただきながら、刈取り草地を決め作業に入りました。当牧場では、低水分のロールサイレージを収穫するため、中1日の乾草作業を行います。今年も好天が長続きしなかったため、中1日の乾



草作業を省略し、1日早いロールパック作業となりました。

前半の収穫作業では、30分の草地で作業を終え、6月下旬より7月前半にかけて、残り90分の収穫作業を予定しています。各自、良質粗飼料確保に向け、好天を願っていました。

夏期放牧牛の受入が始まる

共和育成センターでは、6月4日夏期放牧牛241頭の受入れが始まりました。当日は早朝よりJA職員が申込農家から入牧牛を運搬し、繋留場所へ駆虫薬投与後、授精希望月毎に色別されたネットを確認しながら、オートバイにて新緑の放牧地へ誘導していました。

当センターでは、良質粗飼料を採食するため、放牧地を計画的に草地改良しており、10月中旬の下牧まで、随時植生を確認しながら放牧地を移動させ、適期授精に取り組んで参ります。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

Y o n g w o m e n ' s D i v i s i o n

素敵な鉢が完成しました

女性部 寄せ植え講習会



6月10日(金)、農協スタンド横ガレージ内で、3年ぶりに寄せ植え講習会を開催しました。

講師にハートフラワーチャールリーの篠田氏を招き、花の特徴や植え方を教わりながら講習を行いました。

カラフルなおステオスペルマムや淡い色のシレネなどかわいらしい花が多く、部員の皆さんは悩みながら花の組み合わせを選んでいました。

それぞれが素敵な鉢を完成させ、農協前の花壇に飾る大きな鉢も2つ作りました。農協に立ち寄る際にはぜひ、お楽しみください。

ミルク王国オープンしました!

別海町の牛乳をふんだんに使ったソフトクリームを販売!



営業期間 10月上旬まで

営業時間 AM10:00~PM5:00

※悪天候により休業となる場合がございます。
※諸事情によりオープンが遅れましたこと、お詫び申し上げます。

農業後継者・女性農業者の皆さま

正組合員になりませんか？

組合員の皆さまには、日頃よりJA各事業に格別のご支援、ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

これからの地域農業を守り、発展させていくためには農業後継者・女性農業者の意見が大変重要になってまいります。皆さまの声をJAの事業運営に反映させ、より良いJAづくりに向け正組合員となり、積極的にJA運営に参画くださいますようお願い申し上げます。

正組合員資格

- 1 1ヘクタール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地または住所がこの組合の地区内にあるもの
- 2 1年のうち150日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
- 3 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額または出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所またはその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

↑ 上記いずれかの要件を満たしていれば加入できます。

出資金基準

- 1 出資金額は 1口あたり5,000円となります。
※ 1口からでも加入可能です。

よろしくお願ひします



加入に際してのご相談・お問合せについては管理課（TEL：76-2311）、もしくは経営相談課営農担当までお願い致します。



哺乳ロボット利用での衛生管理のポイント

哺乳作業の省力化や多回哺乳による発育の向上を目的に哺乳ロボットの活用が増えています。気温と湿度が高くなるこの季節。いつもよりも以下の点をご注意ください。

1 哺乳ロボットの管理方式の違いによる注意点

哺乳ロボットは、集団哺乳型が主流でしたが、近年は個体別哺乳型を導入する農場も増えています。それぞれの使用上の注意点は下記の通りです。

集団哺乳型



個体別哺乳型



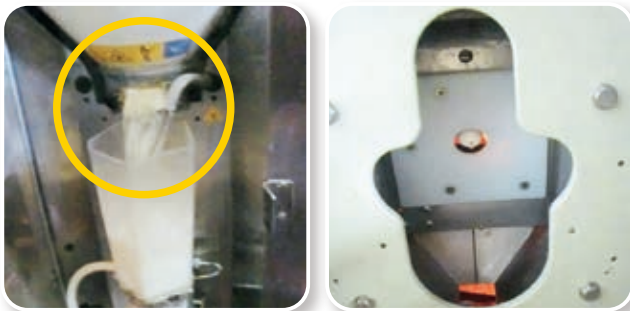
表1 各哺乳型の注意すべきポイント

方式	管理方法	衛生面での注意点	対策
集団哺乳型	1ペンで複数頭管理	哺乳牛同士の接触による伝染性疾患のリスクが高まる 弱い牛がドリンクステーションで押し出される可能性	日々の健康観察、早期発見早期対処 飲めない牛への補助や群分けが必要
個体別哺乳型	個体ペンでの管理	ロボットが移動するため、哺乳時間が限定される	飲めない牛への補助が必要

2 気をつけておきたい衛生管理

夏は飲水量アップ、細菌の増殖増加、分娩頭数増加などの季節です。とりわけ、哺乳ロボットのメンテナンスと牛床の衛生管理が重要です。

哺乳ロボットのミルク調整と飲み口を清潔に



牛床・ペンをクリーン&ドライに



表2 管理のポイント

分類	状態	ポイント
哺乳ロボット	代用乳の吐き出し口に粉が溜まっていませんか？ 飲み口やその周辺はキレイですか？ ミルクの温度は適正ですか？	湿度の高い時期はこまめな清掃で代用乳を適量に 自動洗浄されない部分の洗浄で清潔な状態に 定期的に設定温度の確認が必要です
牛床・ペン	敷料の量や換気は確保されていますか？ きれいな水やスターターは給与されていますか？	日々の牛床の清掃、十分な敷料ときれいな空気空間に 発育を良好にするためには、適切な管理が必要です

哺乳期の管理を向上させて優良な後継牛を確保しましょう。



別校会
春学動
中小運

力を合わせ、
勝利をつかめ
申春っ子

中春別小学校では、6月6日(月)に運動会が開催され、今学期、初めて全校児童全員がそろっての行事となりました。

体操の後、エール交換が行われ紅組・白組それぞれの団長の合図でお互いを鼓舞し運動会がはじまりました。

徒競走や紅白玉転がし、玉入れ、リレーと個人競技も団体競技も力を合わせて、仲間と楽しみながら全力でグラウンドを走る児童たち。

よさこいソーラン2022では高学年が迫力ある演舞を披露し、会場から大きな拍手が送られました。

結果は紅組の勝利となりましたが、全校児童が一丸となり、思い出に残る運動会になりました。





北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

7月号

●【酪農経営科】幼稚園・保育園との連携

新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年行うことができずにいた、くるみ幼稚園との連携事業が復活、今年新たに別海保育園との連携もはじまりました。

5月11日(水)に別海保育園の園児10名と3年生、17日(火)にくるみ幼稚園の園児13名と1年生がジャガイモの定植、6月9日(木)に別海保育園の園児10名と3年生がニンジンの播種を行いました。

今年度は、新たな取組として、生徒が先生役を務め、作業内容や注意点を園児に工夫しながら説明し、作業をおこないました。

ニンジンの播種で先生役を務めた、3年生の小守梓さん(中春別中出身)は、「初めて先生役を務めることになり、園児達にわかりやすく伝えることができるか不安でしたが、説明に元気に返事をしてくれ、また一緒に作業することができて良かったです。」と感想を述べてくれました。

今回の連携事業で植えた野菜の収穫は9月頃を予定しています。

●【酪農経営科】上春別中学校との連携事業

6月6日(月)に1回目の上春別中学校との連携事業が行われました。

天気にも恵まれ、上春別中学校の2年生10名と1年生7名が交流を行いながら、カボチャの定植をおこないました。

今後は、収穫時期に、成長過程や管理方法、収穫・貯蔵方法について学習していくことになっています。



園児に説明している様子



作業の様子



作業の様子



作業の様子

●【専攻科】乳牛管理学～外部講師講義

5月25日(水)別海町内在住の開業獣医師の大塚優磨様を講師にお招きし、子牛の発育のメカニズム、子牛の哺育技術や基本的な管理方法について講義をしていただきました。講義終了後も、学生が日々の仕事で抱えている疑問に、一つひとつ丁寧に答えていただきました。学生からは「とても熱い講義でした。仕事だけでなく人生に対する姿勢においても、正しい判断基準を持ちながら生きていくことの大切さを学びました。大変有意義な時間でした。」という感想がありました。



大塚優磨獣医師の講義

●【専攻科】研究活動計画発表会

学生が日々の作業の中で持った疑問や問題点を解決するため、テーマを決め研究に取り組んでいます。5月27日(金)今年度の研究についての計画を発表しました。研究テーマをご紹介します。「子牛の飼育改善」、「PAGs検査を用いた妊娠鑑定～不受胎確認と多胎の発見～」、「哺乳期における対応について」、「草地更新による耕起作業のない除草剤とその費用対効果」、「疾病の現状と改善について」、「経産牛の繁殖成績向上」、「我が家の経営実態調査」、「酪農家の特徴と理想の飼養形態」の以上8つのテーマで、11月まで研究を進めていきます。

今後の発表会の日程は、研究活動中間発表会を9月14日(水)、研究活動発表会を2月8日(水)にそれぞれ予定しています。是非来校され皆様方よりご批評をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。



研究活動発表会

●【専攻科】第1回「特別教育活動」

5月30日(月)に特別教育活動を実施しました。学生間の交流を深めることを目的に開催しており、午前はパークゴルフを、午後は食事会をおこないました。パークゴルフが初めての学生もいましたが、晴れた空の下楽しそうにゲームをして心身共にリフレッシュした様子でした。



パークゴルフの様子

●【専攻科】「専攻科説明会」

8月4日(金)令和5年度入学希望者対象に説明会を行います。年齢制限はございませんので、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。また、いつでも見学等対応いたしますのでお気軽にお問い合わせご連絡ください。

別海高校代表電話：0153-75-2053

安全と体調に留意し、作業にあたりましょう

牛魂祭及び農作業安全祈願祭が、6月14日(火)に牛魂之碑前で行われました。

これから一番草・二番草の収穫作業と忙しい時期となりますので、農作業事故には十分に注意が必要です。声をかけあい安全確認を徹底し、熱中症や体調不良を起こさないよう、こまめに休憩や水分・栄養補給をして作業にあたりましょう。



退職のご挨拶



山崎 陽平

この度、一身上の都合により6月30日をもって退職する運びとなりました。組合員の皆様には至らないばかりにご迷惑をおかけすることも多かつたと思いますが、この1年間で様々な経験をさせていただきました。大変感謝しております。短い期間でしたがお世話になりました。ありがとうございました。



大気と森と川と海はひとつ

別海町植樹祭

6月25日(土)別海町主催による植樹祭が、別海ふるさとの森にて開催されました。当日は天候に恵まれ、気温が高い中での作業となりました。当農協からは役員・職員が参加し、地域の人たちと額に汗を浮かべながら協力して700本のアカエゾマツを植えました。

北海道別海高等学校 農業特別専攻科説明会

日時: 令和4年8月4日(木) 10:30~12:00

場所: 専攻科ゼミ研究室

- 内容: ①専攻科とは(役割・学費・取得可能資格など)
②授業内容について(科目や視察研修・研究活動について)
③給付金の説明や施設見学など

■専攻科内容

登校時間: 10:35

下校時間: 14:35

登校日: 月・水・金
(登校日数最大年間142日)

- ・海外研修(ニュージーランド)が履修出来ず(2年次選考含)
- ・農業次世代人材投資資金(準備型)制度対象校(再審査)1年間150万円
合計300万円給付

町内外視察・専門家外部講師による講義多数

申込み・資料請求・お問い合わせ

北海道別海高等学校農業特別専攻科

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1

TEL: 0153-75-2053

HP: <http://www.bekkai.hokkaido-c.ed.jp>

E-mail: bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp



科訓
酪理実践

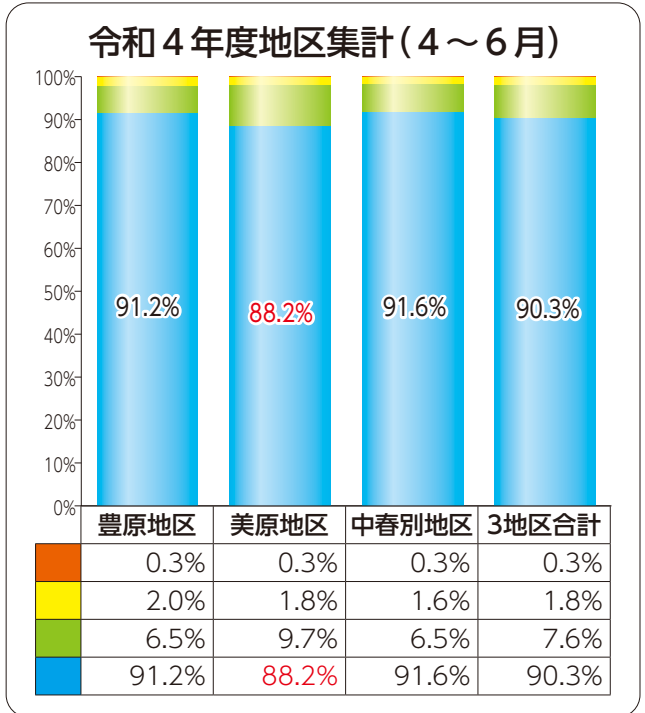
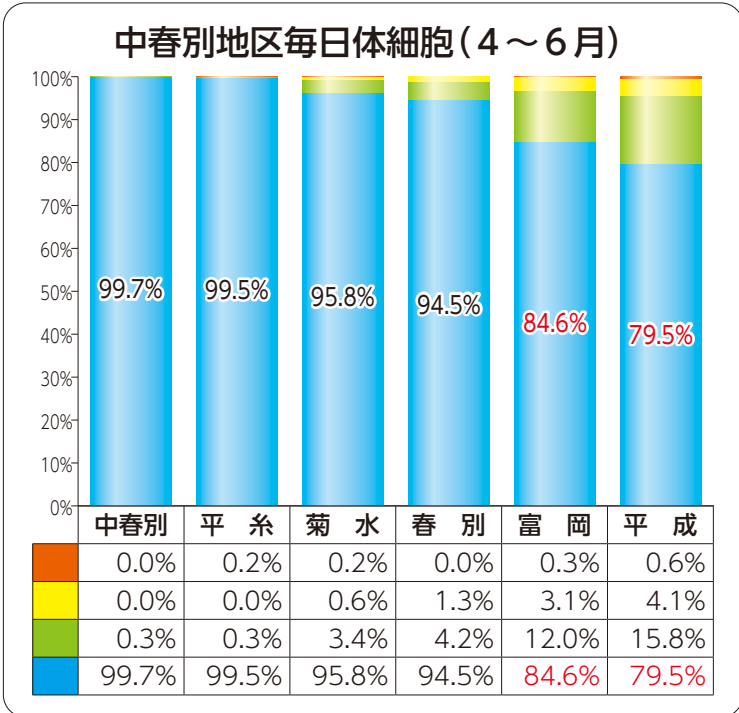
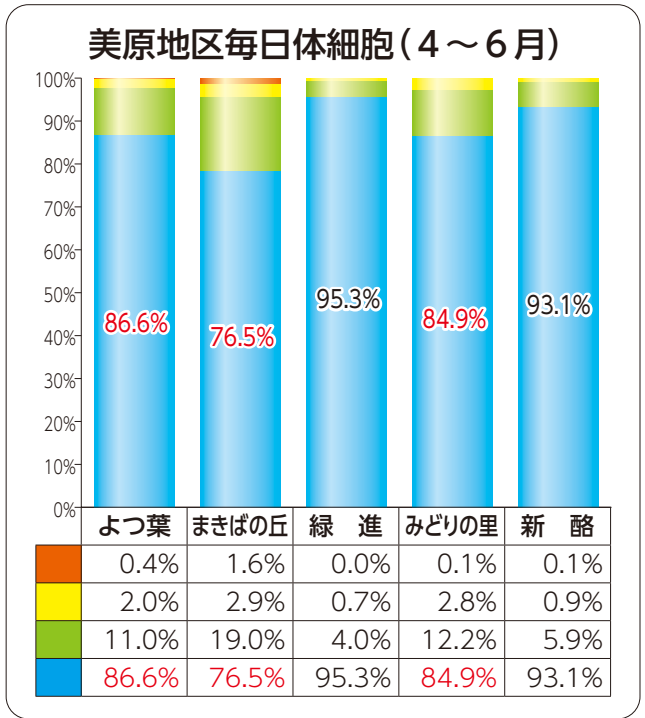
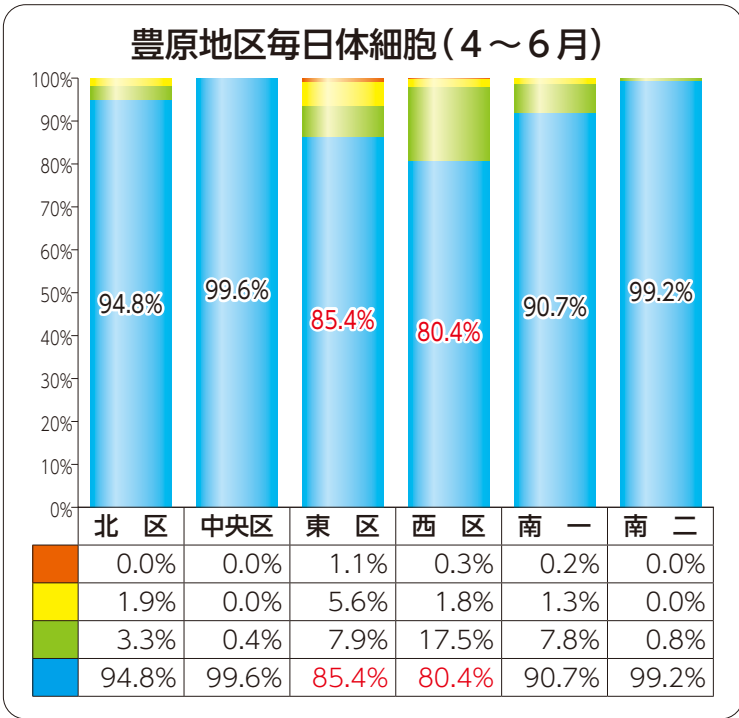


生乳汚染事故を無くそう!

令和4年6月30日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質混入事故	0件	2件
生菌による汚染事故	0件	0件
異物混入、加水、血乳による汚染事故	0件	1件
異臭、異常風味による汚染事故	0件	0件

**人も牛も
体調管理と
暑熱対策を!!**

良質生乳生産推進委員からの標語



凡例： ■ 50.5万以上 ■ 40.5~50.4 ■ 30.5~40.4 ■ 30.4万以下

第4回 理事会の動き

令和4年6月3日(金)

議案

- 1 代表理事組合長の選任について
- 2 会長理事の選任について
- 3 副組合長理事の選任について

- 4 専務理事・常務理事の選任について
- 5 役員構成及び理事の順位について
- 6 退任理事に対する退職慰労金の支給について

第5回 理事会の動き

令和4年6月14日(火)

報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 組合員の脱退について
- 3 職員の退職について
- 4 人事発令について
- 5 役員会議日当の設定について
- 6 令和4年度役員体制及び役割分担について
- 7 緊急事態発生対策・火災発生対策機構図の変更について
- 8 第24回「宵の市」の中止について
- 9 子会社の固定資産取得状況について
- 10 総体的なリスク量管理および事業量・リスク・資本のバランス確認の報告について
- 11 要改善J A要綱・J Aバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について
- 12 J Aバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について

- 13 令和4年度5月末営農関連実績について
- 14 固定資産の取得について

議案

- 1 令和4年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
- 2 令和3年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
- 3 北海道常例検査に伴う指摘事項改善状況等の回答について
- 4 令和4年肥料年度推進要領(案)について
- 5 令和4営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
- 6 令和4営農年度特定指導組合員担当理事(案)について

協議事項

- 1 役員研修の実施について

5月乳質乳価一覧表

		単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)	
乳脂肪分		944.816		37.70	37.43	0.27	
無脂乳固形分		597.188		52.63	52.57	0.06	
生産者補給金		6.6440		6.64	6.57	0.07	
集送乳調整金		2.0833		2.08	2.06	0.02	
補給金合計		8.7273		8.72	8.63	0.09	
乳質 単価	生菌数	ランク1	2	348,567,957.0	3.77	3.77	0.00
		ランク2	0	12,766,592.5			
		ランク3	-3	283,277.7			
	体細胞数	ランク1	2	328,702,379.5			
		ランク2	1	16,846,836.3			
		ランク3	-2	3,852,681.0			
合計				102.82	102.40	0.42	

5月生乳受託実績表

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	37円70銭	
無脂乳固形分②	52円63銭	
生産者補給金③	6円64銭	
集送乳調整金④	2円08銭	
脂肪率	全道	3.99%
	農協	4.11%
無脂固形分率	全道	8.81%
	農協	8.75%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道	99円05銭
	農協	99円82銭
乳質乳価⑥	全道	3円77銭
	農協	3円73銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道	102円82銭
	農協	103円55銭
	差異	0円73銭



作品名：「つがいのタンチョウヅル」



作品名：「エゾフクロウ」

今月号の組合員の広場は『宮西理絵』さんの
写真を掲載いたしました。

組合員の広場では、習字や俳句、短歌、絵画、写真など
多数の作品を募集しております。

尚書振興課までお気軽にご連絡ください。

この度人事異動により、広報誌の担当を離れることとなりました。
はじめは記事の書き方もカメラの使い方もわからず、毎月試行錯誤しながら
約3年担当させていただきました。幼いころから読んでいた広報誌に携わること
ができ、とても楽しかったです。

組合員の皆様・関係機関の皆様におかれましては、誌面作成にご協力いただき
誠にありがとうございました。

今後も広報『なかしゅんべつ』のご愛読のほどよろしく申し上げます。[原内]

